

# 名古屋市立大学の 地域貢献 2021



誇りを持ち、愛される大学を目指して

## TOPIX トピックス

- ◆ コロナ禍での  
新たな社会貢献活動  
書籍シリーズ  
「名市大ブックス」を創刊
- ◆ 全国最大の  
国公立大学病院群へ  
東部医療センター・  
西部医療センターを  
大学附属病院化



名市大は、教育・研究と並んで大学の重要な使命である「社会貢献」を推進するため、平成26年度に「社会連携センター」を設置し、名市大が有する資源と学外のニーズのマッチングに積極的に取り組んでいます。

また、明るい未来を切り拓く指針として令和3年2月に「名市大未来プラン2021」を策定し、「誇りを持ち、愛される名市大」を始めとした4つのビジョンとSから始まる3つの視点、そして今後実現を目指す48のプランを掲げて日々邁進しており、教育研究成果を地域に還元するため、名古屋市役所と積極的に連携しています。

本パンフレットでは、名市大での社会貢献活動の一端を紹介しております。皆様に、名市大が取り組んでいる活動実績を知っていただくとともに、さらなる連携のきっかけとなれば幸いです。今後とも、誇りと愛に満ちた大学となることを目指し、より一層力を入れて社会貢献に取り組み、地域社会の発展に寄与してまいります。引き続き皆様からの温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

社会連携センター長 明石 恵子

## 名市大未来プラン2021

名市大未来プラン2021 (2021年2月策定)

### — 4つのビジョン —

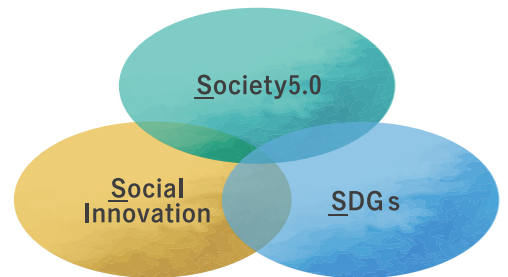
誇りを持ち、愛される名市大  
教育・研究・診療の環境づくり

名古屋市と共に発展する名市大  
名市大の明るい未来づくり

戦略性を持って  
世界に飛躍する名市大  
和、実行力、戦略性、透明性のある大学づくり

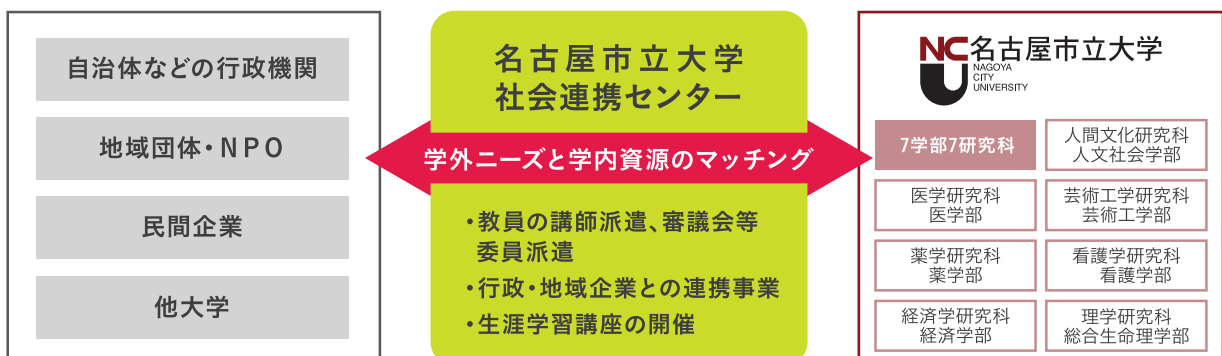
経営基盤が安定した名市大  
経営改善に向けた体制づくり

### 3つの視点-3つのS-



## 社会連携センター

大学には教育、研究成果等の資源を活用し、市民、地域社会、企業等と協働し、社会貢献を行うことが求められています。社会連携センターでは、皆様から連携事業や講師派遣などのお問い合わせがございましたら、総合窓口として、本学教員とのマッチングを行います。「大学の力で地域の課題を解決したい」、「講座の講師をお願いしたい」などのお悩みには、私たちが相談相手になりますのでお気軽にご相談ください。



## 教員の派遣

本学では、教育研究成果の地域への還元の一環として、自治体・地域団体等が主催する講演会・研修会等の講師または審議会等の学識経験者として教員を派遣しています。

### 講演会等への派遣

地域の生涯学習のニーズに応え、多様な学習機会の提供に貢献する講座から教員の専門的な知見を生かした講座まで、幅広いテーマに対し本学の教員を講師として派遣しています。



講座の様子

### ▼ 教えて博士!なぜ?なに?ゼミナール

名古屋市教育委員会が主催する「その道の達人派遣事業」に協力し、名古屋市立の小・中・高等学校等の依頼に応じて、児童・生徒に対し、健康・福祉・社会・文化などの専門分野に関する出前講座を行っています。その他、本学の留学生による「留学生との交流」も実施しています。

### ▼ 教員免許状更新講習

名古屋市教育委員会が実施する「教員免許状更新講習」に、本学教員を講師として派遣しています。「教材の工夫」、「子ども理解」、「子どもの貧困」、「キャリア教育」、「持続可能な社会づくりに向けた教育」、「途上国支援」といったテーマで講義を行っています。

### 審議会等への教員の派遣

本学の教員が自治体の各種審議会等委員に就任し、政策形成に寄与しています。

### ▼ 主な審議会等への就任実績

- 名古屋市環境審議会
- 名古屋市広告・景観審議会
- なごや子ども・子育て支援協議会 など

### ▼ 名古屋市の審議会等委員就任教員数 (令和2年度延べ数)

129

人

## 大学の地域貢献度ランキング 全国5位!



日本経済新聞社が、全国755の国公私立大学を対象に行った「大学の地域貢献度に関する全国調査2019」において、本学は、総合ランキング全国第5位、東海地域第1位(3回連続)、公立大学第1位となりました。この調査は、大学が教育や研究などを通じて地域社会にどのような貢献をしているのかを探るものであり、本学の教職員・学生による地域貢献の組織的な取組が評価された形になります。

## WEB版地域連携事例集

次項以降の事例の他、本学の主な地域連携事例について、事例ごとに内容・ポイント・事業実施者などを1つの個票としてまとめ、集約した「WEB版地域連携事例集」を公開していますので、是非ご覧ください。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/renkeijirei/index.html>



## 地域との連携

本学は、教育研究成果を地域に還元し、また、名古屋大都市圏の発展に寄与するため、行政、企業、地域住民の団体等と連携して多岐にわたる活動を行っています。

### 行政との連携

名古屋市をはじめとする行政機関と連携し、豊かで魅力ある地域社会づくりを進めています。



連携協定書締結式の様子

#### ▼ 豊川市との連携

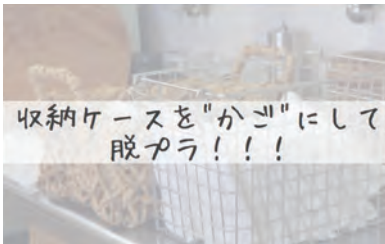
令和2年7月に、本学は豊川市と連携協定を締結し、特に病院間における連携を推進しています。新型コロナウイルス感染症下において、市大病院の感染制御チームを豊川市民病院に派遣し、院内の感染対策を助言・指導しました。また、高度専門医療を担う医師の養成などを目的に寄附講座を設置し、ノウハウの共有を図っています。

#### ▼ 都市政策研究センターの講座・シンポジウム

令和2年8月から10月に名古屋市・名古屋工業大学と連携し、「AI・IoT経営人材育成講座」(全8回)を対面及びオンラインで開催するとともに、令和3年1月に、「SDGsの達成に向けた都市の役割」をテーマに名古屋市との連携シンポジウムを開催しました。今後も都市問題や地域課題を解決できる人材の育成に寄与してまいります。



シンポジウムの様子



「#プラかん」をつけて投稿された写真

#### ▼ 学生主催のインスタチャレンジプロジェクト「#プラかん」

なごや環境大学実行委員会と本学や他大学が連携し、学生でもできる脱プラ運動として、Instagramに投稿する際に「#プラかん」を付けるSNS版の環境活動を行いました。経済学部、人文社会学部の学生が参加し、プラスチックを減らすための生活の見直しの提案など、令和2年7月～8月にかけて、76人が写真300枚以上を投稿しました。

#### ▼ 名古屋市文化振興事業団との連携

令和2年11月に、教育研究の充実や学生の実践力を高めるとともに、withコロナも見据えた地域文化の活性化やその継承・発展・創造に寄与するため、(公財)名古屋市文化振興事業団と連携協力協定を締結し、令和2年12月には締結記念シンポジウムとパフォーマンスを開催し、令和3年3月には締結記念コンサートを開催しました。



学生パフォーマンスの様子



撮影の様子

#### ▼ 教育映像コンテンツの制作

令和2年6月～12月の期間に、芸術工学部の学生と北区役所が協働で、水害に対する備えの大切さを訴える映像を制作しました。子ども向け映像として水害の事例や資料映像を交えながら、地域の俳優を起用し、グラフィカルに水害の備えの重要性をまとめました。映像は名古屋市公式YouTubeで公開・DVD化され、地域の小・中学生の啓発に役立っています。

#### ▼ なごや生物多様性シンポジウム

令和3年3月に名古屋市環境局なごや生物多様性センターと「なごや生物多様性シンポジウム～みんなでつなぐ生物多様性の未来～」を共催しました。理学研究科附属生物多様性研究センターの研究報告を行ったほか、専門家と県下8高校の高校生とのトークセッションなどを通じて、生物多様性の普及啓発を行いました。



シンポジウムの様子

## 企業との連携

教員の指導のもと、学生ならではの視点による実践的な調査・研究を行い、企業に企画提案を行っています。



養成プログラム開発モニターの様子

### ▼進化型実務家教員養成プログラムの開講

令和3年4月に、実務知に基づき、高度化・複雑化した社会の動向や最先端の技術等を学生等にわかりやすく解説し、教育する役割を担う高度専門人材である「進化型実務家教員」を養成するプログラムが開講しました。文部科学省の「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」での採択以降、本学が中核校を務める大学コンソーシアムと企業が連携して、開発が進められてきたものです。

### ▼ミッドタウンクリニック名駅との連携

平成29年に医療法人社団ミッドタウンクリニックと共同研究に関する覚書の締結し、寄附講座による優れた医療人を育成するための教育プログラムの立案や人材育成に係るIR機能の構築、管理、研究を推進しています。また、ミッドタウンクリニック名駅内に本学のサテライト会場を設け、生涯学習講座等を行っています。



サテライト会場での講座の様子



学生が作成した動画の一場面

### ▼一般社団法人日本自動車連盟(JAF)との連携

令和3年3月、人文社会学部の学生が(一社)日本自動車連盟(JAF)との産学連携による幼児向け交通安全啓発活動の報告会を開催しました。「コロナ禍でも自宅で自主的に学べる交通安全教材づくり」をテーマに、半年間をかけて動画やクイズなどの教材を制作しました。動画はYouTubeでも公開しています。

## 地域住民・団体との連携・交流

地域に根ざす公立大学として、地域の課題解決・活性化に取り組んでいます。



試合中の様子

### ▼愛知県高校球児応援プロジェクト

令和2年7月に、新型コロナウイルス感染拡大の危険性から開催が危ぶまれていた愛知県高校野球大会の開催実現に向け、市大病院の整形外科がメディカルサポートを行いました。全ての試合に医師を派遣し、新型コロナウイルスに対する感染対策に加え、熱中症の予防活動と試合中の熱中症発生時の初期対応を行いました。

### ▼おもしろ科学実験教室・冬の薬学教室

瑞穂区役所との連携の一環として、令和2年9月に総合生命理学部による「おもしろ科学実験教室」を、令和2年12月に薬学部による「冬の薬学教室」を開催しました。教員や学生が小中学生に、科学実験や漢方薬の調製といった貴重な体験を提供しました。子ども達からは笑顔や驚きの声が上がリ、大変好評でした。



薬学教室の様子



読み聞かせに参加した留学生

### ▼留学生による「せかいのこぼれおはなし会」

令和2年12月に、鶴舞中央図書館が主催する「せかいのこぼれおはなし会」に国際交流センター協力のもと本学の学生が参加しました。感染症対策のため定員を縮小し、4歳前後のお子さんと保護者ら計15名が参加し、中国・韓国・ベトナム出身の留学生たちが母国語で絵本の読み聞かせを行いました。

# 生涯学習講座・施設開放

本学は、幅広い世代に生涯学習の機会を提供し、また大学施設を開放するなど、「地域に開かれた大学」として社会貢献に努めています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでの開催や、感染予防対策の徹底などの対応や工夫を行いました。

## 生涯学習講座の実施

市民のニーズに応え、気軽に本学の教育研究成果に触れられる講座を開催しています。

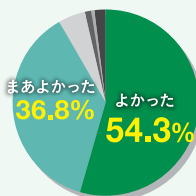
### ▼ 7研究科・病院による講座

全研究科及び附属病院が、最新の研究成果や市民の関心の高い「健康」などをテーマに「市民公開講座」を開催しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を絞っての開催となりましたが、「薬」「てんかん」「子育て」「AI」「歴史」などの多彩なテーマで講座を行い、受講者アンケートでは、90%以上の方から「よかった」「まあよかった」との回答をいただきました。



講座の様子

受講者アンケートでの各講座への感想



- どちらともいえない…4.7%
- あまりよくなかった…1.2%
- よくなかった…0.6%
- 無回答…1.7%

### ▼ リカレント教育講座

本学では高等教育機関の特性を生かし、医療従事者の職場復帰促進及び最新の医療に対応できる人材育成などを目的とした社会人・専門職の方々へのリカレント(学びなおし)教育に力を入れています。

#### なごや看護生涯学習 公開講演会

令和3年1月に、「ワーク・エンゲイジメントで仕事にやりがい！職場も生き活き！」をテーマにオンラインで講演会を開催しました。外部の教員を招き、看護職者が専門性を発揮し、生き活きとした職場環境を育むために必要なワークエンゲイジメントに関し、講演しました。講演後には、対面会場やオンラインでの参加者と活発に意見が交わされました。



公開講演会の様子

#### ▼ 関連講座一覧

- ・医学研究科 医療・保健学びなおし講座 (文部科学省職業実践力育成プログラム (BP) 認定)
- ・東海薬剤師生涯学習セミナー
- ・名古屋市立大学薬学部卒業後教育講座
- ・なごや看護生涯学習セミナー



公開当日の様子

### ▼ 薬用植物園の市民公開

名古屋市立大学では、毎年春と秋の各2日間(計4日間)、薬用植物園市民公開講座を開催しています。薬用植物を学ぶためには、植物を見るだけでなく、使い方とセットで学ぶ必要があるため、教員または学生の案内付きで園内を見学します。学生にとっては、学んだ知識を一般の方に自分の言葉で伝える訓練にもなっています。

### ▼ 昭和生涯学習センター共催講座

令和3年1月から3月にかけて、「今だからこそ、あらためて感染症を知る！」をテーマに、全4回の連続講座を開催しました。感染症との上手な付き合い方、感染症の基本知識と世界の感染症対策、日頃の感染症予防行動の再確認、感染症薬の正しい使用について、十分な感染予防対策下で安全に学んでいただきました。



共催講座の様子

## 大学・病院施設の開放

公共的・公益的な行事等の会場として貸付けています。

各種資格試験や学術講演会等の開催会場として、教室、ホール、会議室などの大学・病院施設を一時貸付しています。また、学術研究を目的とした市民の方に対する所蔵図書等の閲覧・貸出も行っています。

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
生涯学習講座	講座数	135	123	58
	受講者数	7,589人	8,631人	2,989人
大学・病院施設の貸付件数		935件	878件	272件
総合情報センター(図書館)の市民利用者数		1,187人	1,221人	—

(令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、生涯学習講座の一部を中止又は縮小して開催したほか、図書館利用に関し、一般、本学卒業生の方の利用を停止しました。利用に関する詳細は本学Webサイトをご確認ください)

## 名市大ブックスの出版

令和2年10月、名市大の新たな社会貢献活動として、書籍シリーズ「名市大ブックス」を創刊しました。本学の教員が持つ知識、教養をまとめ、書籍化したものです。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、これまで開催してきた市民向けの講座の多くが中止、延期となる中で、この逆境をバネに、より多くの方に学びの機会を届けるため、“本学ができることは何か”を考え、書籍による発信を企画しました。

医・薬・看護学部を有する本学の強みを生かし、まずは「健康・医療」をテーマに大学病院の医師らが病気の予防策や先進の治療法をわかりやすく解説しています。令和3年5月現在、第1～6巻が発売され、書店やインターネットで売上1位を獲得するなど好評を博しています。



名市大ブックス(1巻)表紙



書店の陳列の様子

価格/本体1,100円(税込) 仕様/A5版・152～168頁  
販売場所/一般書店、Amazon、市大病院・生協など  
編者/名古屋市立大学 発行/中日新聞社

## 病院における地域医療への貢献

名古屋市立大学病院は、地域の中核医療機関として、高度かつ安全で開かれた医療を提供するとともに、質の高い医療人を育成しています。

### ▼ 東部医療センター、西部医療センターの附属病院化

令和3年4月に、名古屋市立東部医療センター・西部医療センターが名古屋市立大学医学部の附属病院となりました。3病院を一体的に運営することで、より適正な医師らの配置や、各病院の特長を伸ばした機能分担が可能となり、医療提供体制および専門・先進医療機能の強化が図られ、市民ニーズに応じた、よりの確かつ最高水準の医療を提供します。



東部医療センター



西部医療センター

### ▼ 救急・災害医療の取組

令和7年度、名古屋市立大学病院に「救急・災害医療センター(仮称)」の開棟を目指しており、令和4年度の着工に向けて設計を進めています。救急・災害医療センターは、救命救急センターの拡大・拡充とともに災害時にも稼働できる設備を備える予定です。



救急・災害医療センター(仮称)

### ▼ 地域医療連携の推進

当院は、一般の医療機関では実施することが難しい手術や先端医療・高度医療などを担う特定機能病院として、地域の病院及びクリニック等と相互に協力・連携し、診療を行っています。当院へは、地域の医療機関からご予約をお取りいただき、紹介状をお持ちの上ご受診ください。



名古屋市立大学病院

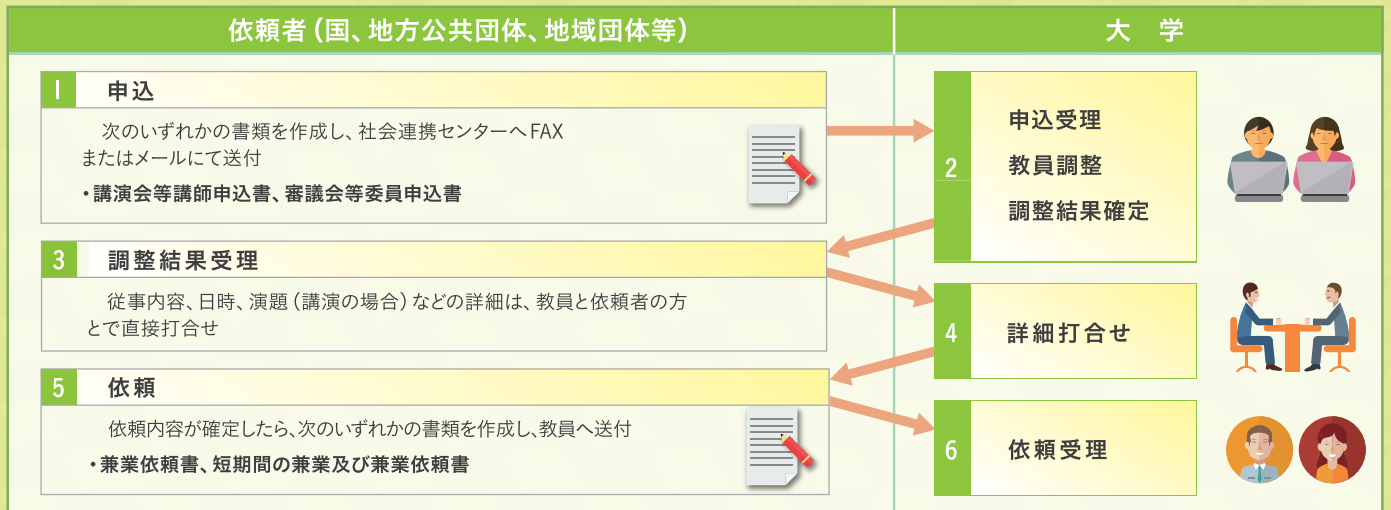
## イベント等開催報告

本学が開催した生涯学習講座などのイベントの様子について「イベント等開催報告」として大学ウェブサイト上で公開していますので、是非ご覧ください。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/report/index.html>



## 教員派遣手続きの流れ



※申込書等各書類の書式はウェブサイトからダウンロード可能です。  
 ※調整した結果、お引き受けできない場合もございますので、何卒ご了承ください。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/haken/index.html>

名市大 教員派遣



## ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

お問合せ先

学術奨励寄附金について (学術研究に対するご支援)

学術課 ☎ 052-853-8008

大学振興基金について (大学運営全般に対するご支援)

名市大生みらい応援基金について  
 (経済的理由により修学に困難がある学生の修学に対するご支援)

総務課 ☎ 052-853-8005

現物資産活用基金について (有価証券等の現物資産によるご支援)

さくら基金について (名古屋市立大学病院に対するご支援)

経営課 ☎ 052-858-7114

(土、日、祝日、年末年始を除く 9時～17時)

## アクセス案内



### ▼桜山(川澄)キャンパス

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

地下鉄 | 桜通線「桜山駅」下車3番出口  
 市バス | 金山⑦のりばより金山12「市立大学病院」下車  
 | 金山⑧のりばより金山14(桜山経由)  
 「市立大学病院」下車

### ▼滝子(山の畑)キャンパス

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1

地下鉄 | 桜通線「桜山駅」下車5番出口から徒歩12分  
 市バス | 金山⑦のりばより金山11・12・16「滝子」下車  
 | 金山⑧のりばより金山14(桜山経由)「滝子」下車

### ▼北千種キャンパス

名古屋市千種区北千種2-1-10

市バス | 名古屋バスターミナル内⑩番のりばより  
 基幹2「萱場(かやば)」下車  
 | 栄③のりば(オアシス21)または、  
 栄(北)③のりば(路上)より基幹2「萱場」下車  
 | 千種駅前②のりばより千種11「清明山」下車  
 | 池下③のりばより幹砂1(清明山経由)「清明山」下車

### ▼田辺通キャンパス

名古屋市瑞穂区田辺通3-1

地下鉄 | 桜通線「瑞穂区役所駅」下車1番出口から徒歩15分  
 | 名城線「総合リハビリセンター」駅下車  
 | 1番出口から徒歩15分  
 市バス | 金山⑦のりばより金山16「市大薬学部」下車  
 | 金山⑧のりばより金山14「市大薬学部」下車

発行  
 (2021年5月)

名古屋市立大学社会連携センター(事務局大学管理部学術課内)

電話番号: 052-853-8041 FAX番号: 052-841-0261 E-mail: shakaikoken@sec.nagoya-cu.ac.jp

※このパンフレットは再生紙を使用しています。